

経営後継者研修だより

11月のトピック 「業務プロセス分析実習」を通じて、企業活動全体の仕組みを学びました。

例年11月前半に、企業の現地に赴き「業務プロセス分析実習（以下、本実習）」を実施しています。今期は第41期と同様に新型コロナウイルス感染防止の観点から、本実習はリモート形式での実施となりました。なお、実習先は、経営後継者研修卒業生の企業に、ご協力をいただいております。

本実習では実習先企業の業務プロセスについて研修生が調査をし、業務フロー図とその参考点・改善点等を報告書として纏め上げ、実習先企業への報告会を行いました。実習先企業からは「短い期間でも良くまとめられていて驚いた。早速、改善点を社内会議の議題にあげたい」との講評をいただきました。研修生は本実習での学びを活かして、自社の業界・業務プロセス分析に取り組んでいます。実習先企業の皆様、お忙しい中でのご協力、誠にありがとうございました。

今月は「業務プロセス分析実習」と「自社業界・業務プロセス分析」をテーマとし、広報委員の4名に感想を伺いました。

業務プロセス分析実習

総括班では、実習先企業の業界・主要取引先業界等の外部分析、社長様をはじめ各班がヒアリングしたことを基にSWOT分析を行いました。自社と業種が異なるためわからない言葉、イメージがつけづらいこともありました。領域を限定しすぎず幅広く資料を集めることで、全体像を捉えることができました。分析する上では【目的】と【仮説】の重要性を学び、総括班が全体のマネジメントをする中で、今何のためにこの作業や打合せをしているのか、何をゴールとしているか、意見を求める際は具体例を出すなど、しっかりと相手に伝えなければ物事が進まないことの経験ができました。今回の実習で学んだことを自社で活かしていきたいです。【富士見工業株式会社 山本緑】

私は今回営業班として営業フローのヒアリングと分析を行いました。私が営業班の分析で一番為になったことは企業にとっての強みは統一認識ではないということです。私たちがヒアリングを行った際、フロー上の動きとして無駄だと感じたものが実はコストも業務速度も上げる方法であり、むしろ強みであったことが分かりました。このことは自社の業務フロー分析を行う上でもとても重要なことであり、今のフロー形態になった経緯、歴史からひも解くなど違う視点から分析することの大切さを知る良いきっかけになったと思いました。【三峰電気株式会社 澤田知紘】



リモート形式での担当者ヒアリングの様子



報告会の様子

自社業界・業務プロセス分析

自社の業界・業務プロセス分析にあたり、調査日が1週間程度ありましたので、自社に戻り、社長や社員の方の協力を得て、業務フローチャート作成や製品製造業務に関するヒアリングをしました。業務フローチャートを作成したことで、様々な工程を経て製品が製造されていることが改めて認識できました。また、社員の方から直接ヒアリングすることで、現場の声を聴くことができました。本調査を通して、自社内部の現状把握をする良い機会となりました。また、業界分析を進めることで、外部環境における機会と脅威をしっかりと見極めてまいります。【株式会社昭栄 黒田智隆】

自社の業務プロセス分析を行う事で、自社の業務内容を改めて客観視する事ができました。毎日当たり前のように携わってきた業務でしたが、フロー図の作成や自社調査日のヒアリングにより、小さいながら多くの疑問点や改善点を見つけ出す事ができました。以前から課内、部門間の問題点を見つけ出しては改善する、ということは繰り返し行ってきており、少しずつ良くなっていると感じていました。しかし今回の調査の結果、まだまだたくさんの事を改善しなければいけないと痛感させられました。今後も新しいことを取り入れればまたフローが作り出されるため、フロー図やヒアリングは活用できると感じました。

【竹下産業株式会社 竹下将広】

INFORMATION

東京校 企業研修課からのお知らせ

◆第43期経営後継者研修 第一次募集の締め切りは、2022年3月31日（木曜）です。

来年2022年10月3日（月曜）開講、第43期生の申込みを受け付けています。

定員になり次第、募集を締め切ります。ご受講を検討されている方は、お早めにお申し込みください。